

当院の「新型コロナウイルス感染症」対策

井上鶴川堂
院長 井上 一郎



「新型コロナウイルス感染症（COVID19）」が世界中で感染の広がりを見せており、日本でも感染の勢いは止まりません。各医療機関では国や自治体の指針に従い、皆様それぞれの感染防止対策をとられていることと思います。

当院の医療地域である日田市大鶴地区一帯は、2年前の水害からの復興が未だ道半ばであり、過疎地域でもあることから、日田市内(保健所等)への交通の便が悪く、来院が困難な患者さんが多い地域です。

当院では、特に「新型コロナウイルス感染症」や「インフルエンザ感染症」の感染を懸念される患者さんを含め、通院に何らかの社会的事情のある方などに対して引き続き"訪問診療"を実施・継続しております。

また、37度以上の「発熱」、「上気道症状」、「倦怠感」などの症状のある方には患者さんの求めに応じてご自宅等で"往診"により問診や理学所見を中心に判断し、診療を行っています。患者さんのご自宅等で行う診療は、十分な換気や、出来る限りの接触を避けた診療を心掛けていることから、「新型コロナウイルス感染症」等の感染拡大防止には最適な診療の一つであると考えています。必要に応じて諸検査を行い通常の細菌性感染と判断した場合には、投薬や注射などの対応も行い、入院や他医療機関の紹介が必要な場合にも即時対応することとしています。

また、当院に来院された方で「上気道症状」、「発熱」、「倦怠感」などの特有の症状がある方は、まず、診療所内への立入はご遠慮していただき、当院駐車場の患者さんの車の中で問診をさせていただき、理学的所見を確認し、鑑別診断をいたします。

また国の方針に準じ4月13日(予定)より、積極的に「新型コロナウイルス感染症」の感染を疑わない(かつ、万が一も考えた場合)、つまり「インフルエンザ感染症」や通常の「細菌感染」、「感冒」が疑われる場合には、次に、当診療所二階の個室(15室)に個別に入って頂き、滅菌下、採血、諸検査を実施し、更に診断が強まった場合には輸液など傷病に必要な治療を行います。

さらに、「新型コロナウイルス感染症」を疑うものの、PCR検査が必要かどうかの判断については、適宜国や医師会の方針に準じ、密に連絡を取り、判断することとしています。

皆さんには、くれぐれも"感染"から目を背けず、まずは「予防」を徹底するよう呼びかけています。

3月末日 記